

令和5年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告  
「やってみよう！環境学習プログラム」  
第1回「東京の豊かな自然を体感!!」（テーマ：自然・生活）

□実施日時 令和5年7月28日（金）9時30分～15時45分

□実施場所 高尾山、高尾599ミュージアム

□実施方法 対面

□実施内容

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. 講師からの講義・体験

講師：NPO 法人自然環境アカデミー 野村亮氏、谷村春樹氏

森林インストラクター東京会（FIT）内藤公雄氏、高橋まり子氏、有村英信氏

（1）環境学習のポイント ～体験の重要性～

東京の豊かな自然を体感しながら自然観察を行い、子供たちが自分で考え発見し感動する力を養い、自然の多様性と面白さを分かりやすく授業で伝える方法を学ぶ。

（2）体験活動

①自然観察会

班に分かれFIT講師が高尾山の多種多様な動植物の特徴を説明。子供たちが興味を持ちやすい点など、話し合いながら観察を行った。



②「ネイチャーゲーム：動物交差点」プログラム紹介及び体験

慰霊塔前の広場を利用

「自然観察シート」を使い、テーマに沿った自然にある形を探すレクリエーションなどを行った。



自然観察シート

○	×	△
☆	田	水滴
♡	😊	☁
♪	🌀	〰

登山ルートは、ケーブルカーの山上駅から慰霊塔を経て、比較的すいていて広くグループでの観察がしやすい1号路を薬王院まで登り、1号路から離れて富士道を通って山頂へ向かうルートを選択。およそ2時間半かけて山頂まで登り、多くの動植物を観察することができた。



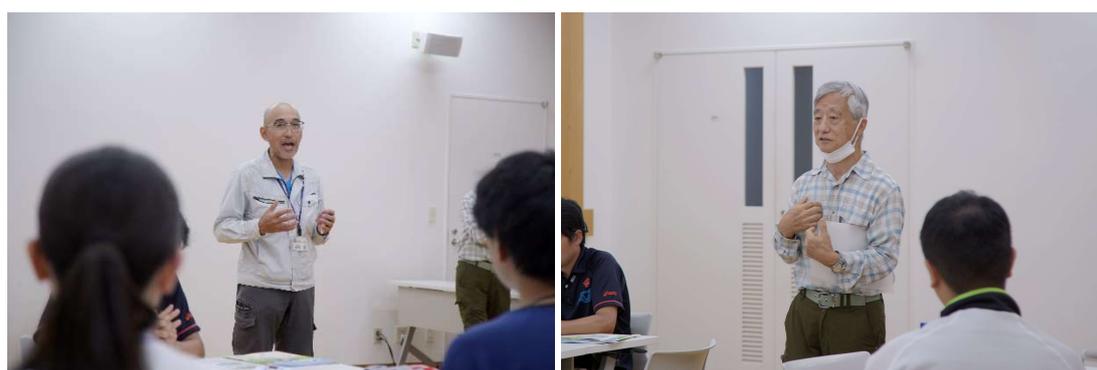
### ③グループワーク・情報交換会

高尾 599 ミュージアムにて、自然観察体験について気づいたこと、授業として取り組む際の課題等についてディスカッション。意見交換し班ごとに発表。



#### (質疑応答及び受講者同士の意見発表)

- ・学校の現場では、暑さやハチ対策で危険だと判断され活動ができないことがよくある。
- ・コロナ以降、子供たちや保護者の体力も低下しているので長時間のフィールドワークは難しいと感じている。
- ・低学年だと集中が続かないので工夫が必要。
- ・外国籍の子供たちにネイチャーゲームのようなカードを使うのはわかりやすくいい。
- ・「自然観察シート」での自然観察は、学校で支給されているタブレットを使うなど工夫したい。
- ・身近な自然環境としては校庭があるが桜の木とアリくらいしかないないのでそれでも子供たちが興味を持てる活動内容を考えたい。
- ・高尾山を実際のフィールドとして研修していただけたのはとても良いと思いました。



#### (実施例や課題に対する講師からのアドバイス)

- ・フィールドワークでは、子供たちに役割を持たせるとリーダーシップが生まれ、一日の体験だけでもとても成長している。
- ・子供たちへ正解を見つけさせるのではなく、「なんでだろう?」「そうだったんだ!」という感動を引き出す体験にしてほしい。

◎事務連絡、アンケート記入等（事務局） アンケート提出後、解散

<参考>

オンライン参加者用に事前視聴用動画作成を行った。

